

【注意事項】

令和4年分 給与所得者の保険料控除申告書

氏名、住所（年末時の）を記入してください

原則、今年10・11月頃、保険会社から届いた「**生命保険料控除証明書**」がある人は、ここに記入

①一般分と個人年金分は、新制度と旧制度いずれかに○をつけ、各区分ごとに計算します
新旧いずれに該当するかは、**証明書**を見て判断してください
例。
新制度
新生命保険料控除制度
⇒「新」に○
旧制度
旧生命保険料控除制度
⇒「旧」に○

②ここに記入すべきかどうかは、**証明書**を見て判断してください
例。介護医療証明額
介護医療用

③原則、今年10・11月頃、保険会社から届いた「**地震保険料控除証明書**」がある人は、ここに記入

④自分が今年1月～12月末までに負担した
・国民年金保険料
・国民年金基金掛金
・国民健康保険料
などがあれば記入
（会社徴収分を除きます）
親族も負担していれば記入してください

⑤自分が直接掛金を支払っている金額（**証明書記載金額**）を記入します
毎月の掛金額のみ記載がある場合には、月数分を乗じて計算します
「**前納減額金**」に金額の記載がある場合には、その分を掛金から控除します
毎月の給与から差し引かれる会社徴収分は記載不要です

所轄税務署長	給与の支払者の名称(氏名)	(フリガナ) アオゾラ イチロウ
	あなたの氏名	青空 一郎
	あなたの住所又は居所	東京都大田区〇〇一丁目5番17号

保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は契約者の氏名	保険金等の受取人の氏名	新・旧区分	金額
AAA生命	養老	10年 青空 一郎	青空 緑 妻	旧	30,000
BBB生命	医療	5年 同上	同上 妻	新	70,000
①					
CCC生命	介護	10年 青空 一郎	青空 一郎 本人	新	60,000
②					
DDD生命	個人年金	20年 青空 一郎	同上 本人	旧	100,000
EEE生命	個人年金	30年 同上	同上 本人	新	50,000
①					

保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	契約者の氏名	新・旧区分	金額
XXX損保	地震	5年	青空 一郎 本人	旧	30,000
YYY火災	積立傷害	20年	青空 一郎 本人	旧	18,000
③					

種類	金額
④のうち地震保険料の金額の合計額	30,000
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額	18,000
⑤のうち地震保険料の金額の合計額	30,000
⑤のうち旧長期損害保険料の金額の合計額	14,000
合計(控除額)	44,000

社会保険の種類	保険料支払元の名称	氏名	あなたの住所	あなたが本年中に支払った保険料の金額	
国民年金	日本年金機構	青空 桃 子		194,800	
国民健康保険	大田区	青空 明夫 父		256,900	
合計(控除額)					451,810

種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	
確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
心身障害者に対する契約の掛金	

A, C又はDの金額	控除額の計算式	B又はEの金額	控除額の計算式
20,000円以下	A, C又はDの金額	25,000円以下	B又はEの金額
20,001円から40,000円まで	(A, C又はD) × 1/2 + 10,000円	25,001円から50,000円まで	(B又はE) × 1/2 + 12,500円
40,001円から80,000円まで	(A, C又はD) × 1/4 + 20,000円	50,001円から100,000円まで	(B又はE) × 1/4 + 25,000円
80,001円以上	一律に40,000円	100,001円以上	一律に50,000円

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額とする。

記入例

令和4年分 給与所得者の保険料控除申告書

所轄税務署長	給与の支払者の名称(氏名)	(フリガナ) あなたの氏名	アオゾラ イチロウ
税務署長	給与の支払者の法人番号	あなたの住所又は居所	青空 一郎 東京都大田区〇〇一丁目5番17号

記載のしかたはこちら



一般の生命保険料	保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は支払期	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人		新・旧の区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認
					氏名	あなたの続柄			
生命保険料控除	AAA生命	養老	10年	青空 一郎	青空 緑	妻	旧	30,000	円
	BBB生命	医療	5年	同上	同上	妻	新	70,000	円
	(a)のうち新保険料等の金額の合計額	A 30,000	円	Aの金額を下計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		① 25,000	円	計(①+②) ③ 40,000	円
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	B 70,000	円	Bの金額を下計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		② 42,500	円	②と③のいずれか大きい金額 ④ 42,500	円
介護医療保険料控除	CCC生命	介護	10年	青空 一郎	青空 一郎	本人	新	60,000	円
	(a)の金額の合計額	C 60,000	円	Cの金額を下計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤ 35,000	円	計(④+⑤) ⑥ 37,500	円
個人年金保険料控除	DDD生命	個人年金	20年	青空 一郎	青空 一郎	本人	旧	100,000	円
	EEE生命	個人年金	30年	同上	同上	本人	新	50,000	円
(a)のうち新保険料等の金額の合計額	D 100,000	円	Dの金額を下計算式Ⅰ(新保険料等)に当てはめて計算した金額		④ 40,000	円	計(④+⑤) ⑥ 40,000	円	
(a)のうち旧保険料等の金額の合計額	E 50,000	円	Eの金額を下計算式Ⅱ(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤ 37,500	円	⑤と⑥のいずれか大きい金額 ⑦ 40,000	円	
計算式Ⅰ(新保険料等)※		計算式Ⅱ(旧保険料等)※		生命保険料控除額計(⑥+⑦+⑧)(最高120,000円)					
A、C又はDの金額		控除額の計算式		B又はEの金額		控除額の計算式			
20,000円以下		A、C又はDの金額		25,000円以下		B又はEの金額			
20,001円から40,000円まで		(A、C又はD)×1/2+10,000円		25,001円から50,000円まで		(B又はE)×1/2+12,500円			
40,001円から80,000円まで		(A、C又はD)×1/4+20,000円		50,001円から100,000円まで		(B又はE)×1/4+25,000円			
80,001円以上		一律に40,000円		100,001円以上		一律に50,000円		117,500	

※ 控除額の計算において算出した金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り上げます。

地震保険料控除	保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等の契約者の氏名	あなたが本年中に支払った保険料等のうち、地震区分に属する金額(分配を受けた剰余金等の控除後の金額)	給与の支払者の確認
地震保険料控除	XXX損保	地震	5年	青空 一郎	30,000	円
				青空 一郎		
	YYY火災	積立傷害	20年	青空 一郎	18,000	円
④のうち地震保険料の金額の合計額					⑧ 30,000	円
④のうち旧長期損害保険料の金額の合計額					⑨ 18,000	円
地震保険料控除額					(⑧の金額(最高50,000円) + (⑨の金額(⑨の金額が10,000円を超える場合は、⑨×1/2+5,000円)※) (最高15,000円))	44,000

社会保険料控除	社会保険の種類	保険料支払先の名称	保険料を負担することになっている人		あなたが本年中に支払った保険料の金額
			氏名	あなたの続柄	
社会保険料控除	国民年金	日本年金機構	青空 桃	子	194,910
	国民健康保険	大田区	青空 明夫	父	256,900
合計(控除額)					451,810

小規模企業共済等掛金控除	種類	あなたが本年中に支払った掛金の金額
小規模企業共済等掛金控除	独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金	円
	確定拠出年金法に規定する企業型年金加入者掛金	
	確定拠出年金法に規定する個人型年金加入者掛金	
	心身障害者扶養共済制度に関する契約の掛金	
合計(控除額)		円

◎この申告書の記載に当たっては、裏面の説明をお読みください。